



元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

せのうえ

瀬上小学校だより

令和6年5月29日(水)
第5号(地域回覧版)
文責:校長 高橋哲也

子どもたちの“本気”を引き出すために…

5月11日の運動会では、たくさんのご理解とご協力、そして、あたたかいご声援をいただきまして、誠にありがとうございました。

おかげさまをもちまして、今年の運動会も“大成功”で終わることができました。

そんな運動会、なかでも一番うれしかったのは“本気”でがんばる子どもの姿をたくさん目にできたことです。

本気で走る姿はもちろん、本気で応援する姿、本気でよろこぶ姿、本気でくやしがる姿、本当にたくさんの“本気”を見ることができました。



特に印象的だったのは、閉会式での成績発表です。

事前の全体練習では「勝ち組は“バンザイ”と言ってバンザイをし、負け組は“拍手”でたたえる」という約束で、何度か練習をしていました。

練習ですから、本気でよろこぶ“バンザイ”は見られませんでした。

形式的な練習ですので、いって当然のことだと思います。

そして迎えた本番の閉会式、勝った白組から練習どおりの“バンザイ”の声は、ほぼ聞こえなかったように思います。

そのかわり、「やったーっ!」「イエーイ!」「ウオーッ!」などなど、“本気”でよろこぶ子どもたちの自然な声が響き渡っていました。

一方、負けた赤組には、くやしくて拍手もできずに泣いている子もいました。

“運動会”という魅力ある活動が、練習では見られなかった子どもたちの“本気”の姿を引き出したことに感動した場面でした。

“魅力ある活動”であれば、子どもたちは必ず“本気の姿”でこたえてくれるはずです。

毎日の授業はもちろん、学校での様々な活動が、子どもたちにとって“魅力ある活動”でなければならないことの大切さを実感しました。

簡単なことではありませんが、子どもたちの“本気”を引き出すために、魅力ある授業づくり、魅力ある活動づくりへの努力を重ね、瀬上小がどの子にとっても“魅力ある学校”になれるよう、全職員で力を合わせて進めていきます。

校長先生のお仕事は？ ～子どもの疑問～

担任の先生方の仕事は子どもたちと授業をすること、保健の先生の仕事はケガの手当てをしたり、具合が悪くなった人の様子を見ること、では、校長の仕事は？

疑問に思っている子も少なくないかもしれません。

実際に子どもたちに聞かれたときは、「学校全体の仕事をしているんだよ。」とか「楽しい学校にするための仕事をしているんだよ。」などと、漠然とした答え方をしていました。



そんなある日、4年生のある子が、私の仕事をズバリと言い当ててくれたのです。「校長先生の仕事は『あいさつをがんばること』でしょ!」

とってもとってもとってもうれしかったです!

1月に「あいさつ日本一を目指します!」と宣言してから5カ月、私の思いを心にとめていてくれたことがわかり、胸が熱くなりました。

これからも“あいさつ”を一番の仕事にして、『あいさつ日本一』の学校になれるようがんばります!

ご家庭や地域でのご協力をよろしくお願いいたします。